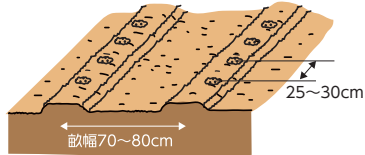
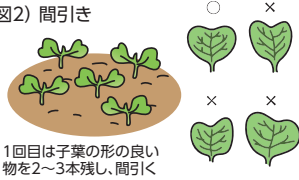


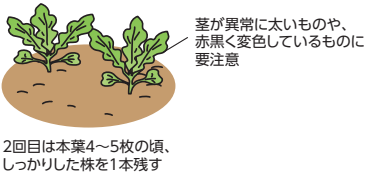
〔図1〕畑の準備



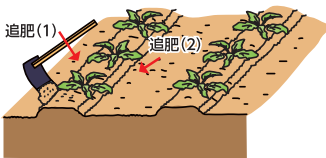
〔図2〕間引き



〔図3〕間引き(株定め)



〔図4〕追肥



- (1) 1回目は株定めの後に化成肥料50gを畝の片側に施し土寄せする
- (2) 2回目は本葉10枚くらいのときに反対側に施し土寄せする

〔図5〕収穫



青首ダイコンは首の太さが8cm、重さ1kgくらいが収穫適期

青首ダイコンは、首の太さ8cm、重さ1kg程度が収穫の適期です。若取りして、葉も利用しましょう(図5)。

ダイコンのピリツとした辛味は、イソチオシアネートという成分に由来し、食欲増進効果があります。また、消化酵素のジアスターゼは胸焼け、胃もたれを解消してくれます。葉にもビタミンCや食物繊維などの栄養が豊富。家庭菜園では新鮮な葉も利用しましょう。

〔品種〕

流通量の多い青首ダイコンでは「耐病総太り」(タキイ種苗)、「冬自慢」(サカタのタネ)などが若取りにも適し、スが入りにくい品種です。煮物用には「大蔵大根」(サ



園芸研究家 成松次郎

カタのタネ)などもおすすめです。また、地方固有品種も多いので、それを育てるのも楽しみみです。

〔栽培時期〕

生育適温が20℃前後なので、種まきは9月、収穫は11~12月ごろが良いでしょう。

〔畑の準備〕

根の下に障害物があると、枝根や曲がりの原因になるので、畑は小石を取り除いて深く耕し、土を細かく砕きます。この時、堆肥は使わないようにしましょう。畑の土には、1㎡あたり苦土石灰100gを混ぜ、1週間ほど空けてから固形30号などN・P・K 10・10・10%の化成肥料100gを施用します。

畝幅は70~80cmで、水はけの良い畑では5~10cm程度の平畝を、水はけの悪い畑では15cm以上の高畝を作ります(図1)。

〔病害虫の予防〕

作付初期にアブラムシ、コナガなどの害虫が発生すると、被害が甚大になるので、種まき前に土壌施用農薬「オルトラン粒剤」を使う、虫よけネットで被覆するなどの方法で予防しましょう。

〔種まきと間引き〕

25~30cmほどの間隔でまき床にくぼみを付け、1カ所に5~6粒まきます(図1)。

子葉が出たら、形の悪いものを間引いて土寄せします(図2)。本葉4~5枚の頃に2回目の間引き(株定め)を行い、しっかりとした株を1本残します(図3)。

〔追肥・土寄せ〕

株定めの直後と本葉10枚ぐらいの頃にそれぞれ1㎡あたり化成肥料50gを畝の片側に施して土寄せします(図4)。

〔収穫〕

青首ダイコンは、首の太さ8cm、重さ1kg程度

購買課からのお知らせ

令和2年産

水稲肥料・農薬

予約受付開始!

令和元年9月末日まで(一部除く)

●皆様のお宅へ、担当者が訪問!

作付や栽培、肥料や農薬など、どんなことでもお気軽にご相談ください。

●ご希望に沿った商品をご提案します。

●早期予約で

大きな値引きを実現!

当JAでは、早期に予約を行うことで、通常価格より安く肥料・農薬をご提供しています。「栽培ごよみ」にセットされている予約申込書で、お申し込みください。

